

# 願成寺報

平成十九年二月九日

〒四四〇・〇八二 豊橋市東新町二十八番地

☎〇五三二・五二・九六〇一

## ■ 報恩講のご案内

左記により報恩講を勤修いたします

報恩講は御開山親鸞聖人のご恩を報ずる法会で 真宗寺院および門徒にとつて一番大切な行事です 今年も聖人の七四五年忌に当たります 万障お繰り合わせの上 お誘い合わせてお参り下さい

早春の一日をゆったり過ごして頂ければ幸いです

— 記 —

二月 十七日(土) 午前十時 法話 戸田 信行 師

お非時(粗飯準備します)

午後一時半 法話 戸田 信行 師

十八日(日) 午前十時 法話 戸田 信行 師

お非時(粗飯準備します)

午後一時半 法話 戸田 信行 師

汁粉

○ それをしたら事態は必ず悪くなると判るはずなのに、激情に駆られた犯罪が相次ぐのは何故でしょうか？ そんな性質があることを、私達が忘れるからだと思います。

○ 昨年の報恩講で、戸田先生が岩見の善太郎という妙好人(真宗同行で特に篤信の人)のエピソードを紹介して下さいました。

その日、善太郎さんはヘトヘトに疲れて帰って来ました。しかし奥さんは夕食の準備も何もしていません、つい小言が出る。奥さんも負けずに応じる。憎悪が湧き上がり、傍にあつた割り木を振り上げた。奥さんが振り下ろすその瞬間、お念仏が口をついて出た。

善太郎さんは我に返り、仏間へ走る。奥さんも後を追ひ、一緒にお参りし、事無きを得たということです。印象深いお話しでした。

○ 私は妙好人ではありませんが、こんな経験をしました。葬儀の開始時間なのに渋滞に巻き込まれていました。どんな叱責があるかとパニック状態で運転しています。

「どけどけえ！」外には聞こえない、聞こえても退ける筈もない。「たすけてー」と大声で叫ぶ。たまらない時間が続きます。そして、「ナンマンダブ・ナンマンダブ」と……………なんで、お念仏なんだ？「おや、お念仏が出ましたね」亡き父の声と顔を思い出しました。「そうだね、お父さんにもこういう時があつたね」落ち着きました。パニック状態のまま運転していたら、どんな重大事故を起していたか分かりません。お念仏に護られたと感じます。

○ 人はお念仏を引き金に仏・法・僧の三宝に出会い直すのだと思います。そんなこと必要ないと思う人、自分は大丈夫と思う人こそ、是非、法話を聞きに来て下さい。

## 「悲しみの殿堂」

昔、お寺は学校としての機能を持っていました。公民館のように、人々が集う場所でした。また、病院であったり、避難所であったりしました。しかし現代では、それらの機能をそれぞれの公共施設が担っています。寺で葬儀が行われることすら希になってきました。本堂を修理するに当たり、その機能を問い直しておかなければなりません。

本堂には、沢山の人のお念仏を受け止めるご本尊（仏）を頂いています。法座が勤まり、仏（法）が説かれます。そして、沢山の人の（仲間僧）のお名前が掲げられています。お寺の本堂は、人が、仏・法・僧の三宝に出会う場所でした。そしてそこは思いっきり悲しみを悲しめる場所なのです。

真宗は横超の教えで『転ずる』ということが大切に語られます。マイナスイメージの事柄をプラスに転じる。善悪・因果など縦の座標軸では受け止めきれない事柄が、次元を一つ超えた横からの力で尊さを見出す機縁に換わる。この『転ずる』により、苦しみ・悲しみ・迷いが、そのまま意義深く尊く受け止められてくるのだ、と私は理解しています。

でもそれを「どんな事柄も良いことと解釈しましょう」と聞いてしまうと間違いです。そんな風にできないから苦悩しているのではないのですか？ 『転ずる』主体は私ではありません。『我を忘れたとき、我に返る力は、我にはない』のです。だから、私が私であり続けるためにも、私を包む存在への目覚めが必要です。幼い子供は、母親に見てもらって、安心して転んだり泣いたりします。安心して泣ける場所は、とても大事なんだと思います。

「なんで私ばかりが…」と涙をこらえている時、「神も仏もないな」と

世間を敵に回して独りぼっちの時、不安でいっぱいの時、お寺の本堂にお参りしてみてください。「本当に私ばかりなのか？」と問い直すことができます。すると、例えば『一切皆苦』などの法語が思い浮かびます。独りで涙をこらえていた時、この『一切皆苦』は絶望の言葉でしたが、仏様の前で安心できれば、『一切皆苦』を済いの言葉として受け止め直すことができます。形はちがっても、どの人も同様に『一切皆苦』を生きている、私ばかりではなかった…と。世間が味方に換わっています。

お寺の本堂で、「どれだけの人が涙を流しながら手を合わせたのだろう？」と想像してみます。数え切れない人々の、計り知れない思いがそこにあります。そんな想いを呼吸しながらしばらく過ごします。

『尊さ』は仲間の姿の中にやっと見出されるもので、決して私が発明できるものではないと判ってきます。仲間の姿の中に尊さを発見したとき、そんな風に仲間と出会い直したとき、生まれてよかったと実感できます。そして、私も誰かの仲間であり続けられると確信します。

人は去っていくけれど、その人の微笑みはなくなるならない  
人は去っていくけれど、その人の言葉はなくなるならない  
人は去っていくけれど、その人の温もりはなくなるならない  
人は去っていくけれど、拝む手の中に帰ってくる

《高田本山・青少年会館・掲示板より》

個人的には、父が五十年過ぎたお堂です。  
そしてそこは、人々が悲しみを習い・尊さに  
出会うべき大切な場所でした。  
他人の悲しみに触れる機会が少なくなった今、  
逆にお寺の本堂を見直す必要を感じます。

（住職 福澤 秀倫）



## 「本堂の耐震改修」

御開山親鸞聖人の七五〇回御遠忌まであと五年。

当山開山から約五〇〇年。当地移転から約一〇〇年。

後の百年を考える節目の時だと思えます。

百年を待たずとも、大地震が必ず来ると予測されています。

現在の本堂は戦火を免れて築百年です。傷みが目立ってまいりました。

もともと移築の建物で、部材の強度など大地震を前に心配です。

お寺で怪我をする人がないように、必要ならば避難所のように使うため

にも、本堂の耐震改修を行いたいと考えました。

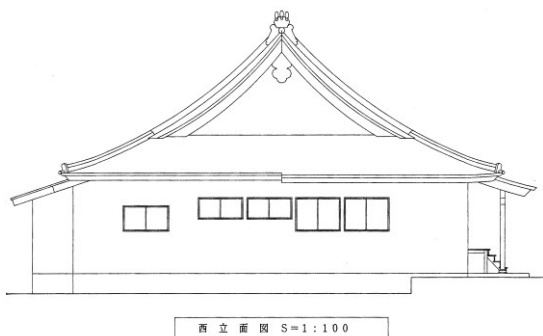
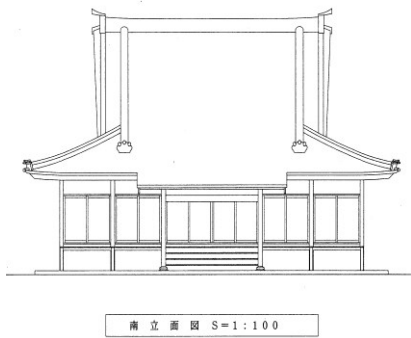
沢山の方がお参りされたお堂です。

今の姿をできるだけ残しながら、後の世代に伝えたいと思います。

総代会の皆様のご賛同を得、工事を決断致しました。

工事中は、ご不便・ご迷惑をお掛けすると思えますが、

ご容赦いただきますよう、お願い申し上げます。



## 工事詳細

一．予算 七千万円

本堂については寄付を募るべき、との有難い御意見を多数頂きました。迷いましたが、寺の貯蓄で賄います。諸法会や盆・暮れの御懇志などを貯めたものです。前任職の時代から貯めているものです。ここから支出することを御了承下さい。そして、寺の行事に、より沢山の人のご参集頂きますようお願い致します。

一．工期

平成十九年十一月から半年程度  
仮御堂を準備する予定ですが、本堂のようにはいきません。本堂に接したお墓へのお参りも難しくなります。ご容赦下さい。正月・彼岸は、お参りできるように考えます。

一．施工業者

株式会社 カナメ 名古屋支店 殿  
金属屋根を得意とする業者です。支店は違いますが、東京の浅草寺・雷門の改修をチタン屋根にて行っています。当山の屋根も同様の技術で工事します。

一．工事内容

- ① 仮設工事 足場組立など
- ② 解体工事 瓦屋根を降ろす
- ③ 屋根下地及び木工事 本瓦棒葺きの姿にチタン（金属）屋根
- ④ 板金工事 現屋根の1/5以下の軽さ天水鉢交換など
- ⑤ 雨樋工事 傾いた柱を建て起す
- ⑥ 建直し工事 土台敷設と基礎の補強
- ⑦ 基礎及び床下大工事 外壁はサイディング
- ⑧ 左官及び造作工事 木部のあく洗い等
- ⑨ 洗い工事

不明な点など、寺までお尋ね下さい。

## 「願成寺の沿革

### 2・指笠町時代」

小向町の植田様が、江戸期の願成寺について調べて下さいました。沢山の資料の中から一部を紹介致します。



『三河国吉田名蹤綜録・巻の二』  
一八〇〇年ごろの書  
願成寺の記述と挿絵あり  
宗旨は高田宗にして下地聖眼寺に属す、夫当寺は往昔円成坊と号し年久く草庵にてありしが、大永年中正円法師という僧願成寺と改む、木造阿弥陀如来立像二尺八寸、恵心僧都の作  
豊橋市史々料叢書四より

願成寺  
松葉公園の東、中部電力・新本町変電所の辺りだそうです  
この資料の瓦町の部分、現在の場所には別のお寺の名前が見えます  
『養(善?)明寺』と読めます  
このお寺の跡地に引越して来たようです

→ 吉田宿絵図 元治元年(一八六四)より抜粋

東海道五十三次宿場展区 豊橋市二川本陣資料館二〇〇一より

## 「世話方募集」

年明けから心が晴れません。本堂改修について不安がいっぱいです。他にも年内中に着手したい事業があります。

- ① 墓地の拡張 待っておられる方があります
- ② 国道に面した塀の修理 大地震の際に危険です
- ③ 駐車場の整備 小さ過ぎると思っています

私はコンピュータのプログラムを作る仕事をしていました。その頃は自信もあり、楽しく働けました。しかし、お寺の仕事は難しく自信が萎えます。寺の未来を考えるようなとき、考えてばかりで進みません。お寺のお金を拠出するような場合は特に迷います。

昔、お寺には婦人会・青年会・子供会があり、たくさん笑顔が見られました。そんな組織や時間を取り戻したいです。

知恵をかして下さる方はありませんか？

総代会の皆様も「話し合う人が増えるとよいね」と話しておられます。

現在、総代会は年三回・法会の度に集まります。

法会を運営し、総代会で寺のことを話し合い、慰労会で終わります。

参加してみませんか？

特別に経済的なご負担をお願いすることはありませんので、お気軽に声をかけて下さい。

よりよい寺の運営のために、お力を貸して下さい。

お願いします。



前住と総代会の風景

## 「私は悔しくてたまらない」

子供の勉強を見てみると、「分からん」と言います

教えようとすると「後でやる」と言われます

今やりなさいと頑張ると、泣き出します

「後でパパとやる」が悔しいです

そこへ住職がやってきて、答えを全部教えます

子供の笑顔が悔しいです

「そのうちできるようになる」も悔しいです

努力しないでいいかしら

「泣かしてしまったら、できるものもできなくなるだろう」

「それは、できないを教えることだろう」

悔しくて私も泣いてしまいます

泣いた私を残して行ってしまうのですか？

もう悔しくてたまりません

ちゃんと慰めてくれなくちゃ

泣き止み方が分かりません



(坊守 福澤 真理)

## 「三願転入」

私達は悠久の過去から永遠の未来へつなぐ命を持っていますが「無明の闇」を抱えているので、阿弥陀仏は何とかして「光明輝く世界」に出してやりたいと四十八願をたて、成就して下さいました。その中で私達に出来ることを教えて下さっているのが十八・十九・二十の三願です。十九願は善いことを一生懸命やりなさい。臨終には諸仏方を引き連れて迎えに行きましょう。二十願は功德のエキスと云われる念仏を称えなさい。願いを叶えましょう。十八願は必ず大安心・大満足の心にしてあげましょう、というのです。

親鸞聖人はこの教えに従って真剣に御修行され、その心の道程を教行信証に著して下さっています。善に励もうとすると欲の心がなくしてしまい、仏法を求めようとすると腹立つ心が潰してしまい、頭ついた火を拭い消すように真剣にやっても嘘・偽りの善しかできず、十九願のまことの善にはならない。これでは阿弥陀仏の浄土には行けない。「地獄一定の親鸞」であると、歎異抄にもあります。

十九願から二十願へ廻入して念仏を称えても、これで何とかになりたいと思う自力・雑修の心が混じり、これまた捨てものの「雑行」の念仏にしかありません。

改悔文に「他力の御廻向によりて、雑行雑修疑心自力を捨てて」とあります。はからい心を阿弥陀仏に捨てさせてもらって、大慈悲心を廻向せしめたまう念仏を称えさせて頂くのが十八願です。

めまぐるしい現代人は、結果を早急に追求するあまり、最も大切な過程を見失ってしまいます。「雑行」も十九・二十願を真剣に実践した人へのみ気付かせてもらえ、捨てさせてもらえるのです。即ち他力の御廻向にあずかれるので、御書の「義なきを義とすとしるべしとなり」の聖人のお言葉が味わい深く感じられます。

(前坊守 福澤 佳津子)

## ■平成十九年行事予定

二月 十七日 (土) 報恩講

十八日 (日) 真宗寺院として一番大事な法会です

法縁を通して御開山親鸞聖人の恩徳を仰ぎます

三月 二十一日 (水・祝) 春季彼岸(讚仏会)・永代経法会

仏様の遺徳を讃え仏を鏡として私を振り返ります

九月 二十二日 (土) 秋季彼岸(讚仏会)・永代経法会

仏様の遺徳を讃え仏を鏡として私を振り返ります

十一月 三日 (土・祝) 高田本山団体参拝

高田本山の納骨堂法会に参拝します  
豊橋市内・近郊の高田派寺院と共にバスを借りての日帰り旅行です

### ○春季彼岸(讚仏会)・永代経法会について

大河内智見(花園町・應通寺)先生にお話し頂きます。

父と親しくして頂いた方で、思ひ出話など聞けるかも知れません。  
ペテランの先生の法話を是非ご聴聞下さい。

### ○秋季彼岸(讚仏会)・永代経法会について

昨年につき、戸田恵信(岡崎市・浄泉寺)先生にお話し頂きます。

真面目で情熱的な法話を是非ご聴聞下さい。

## ■本山御影堂の大修理について

当山としての御懇志募集期間は昨年をもって終了しました。  
応募の実績を記します。

応募戸数 二八一戸

懇志金合計 金一〇七〇万円

暖かいお心とご支援に対し、厚く御礼を申し上げます。  
有り難う御座いました。

本年中に、募財名簿を提出し、記念品をお届け致します。

御影堂の工事は順調に進んでおります。

今後の予定を記します。

平成二十年三月末

修理完成予定(参拝可)

平成二十二年五月十三〜十七日

御影堂平成大修理落慶法会

### ◆後記◆

○ブレイクスルーは、諦めた所にあるようです。メ切を守ろうと必死の時には書けず、「守れません!」と諦めたら書けました。

仏教では『四諦(シタイ)』という言葉もあり、『諦』を真理の意味で使います。だから「諦める」はなかなか大事です。

これは敗北主義とは違います。戦う意味を知れば、勝ち負けは関係ないと云いたいのです。ズルして勝っても意味はない。

「ノウガキはいいからメ切を守りなさい!」 ∴ ゴメンナサイ。

○悲しい時、どのように過ごしますか? お風呂で涙をぐまかしますか? トイレに入って泣きますか? トイレの中でも泣けないよう

なら心配です。泣いたら(自分が)壊れると思っっています。  
涙の中にこそ、本当の自分があるはずなのに。

○笑顔は人を安心させる表現です。

涙は、人に意味を伝える表現だと思いませんか?

誰かに見て貰わなければ意味がありません。